



SonicOS 7

アップグレード ガイド

- NSsp、NSa、およびTZ

SONICWALL®

目次

ファームウェアのアップグレード	3
最新の SonicOS ファームウェアの入手	3
システム バックアップの作成および設定のエクスポート	4
自動 バックアップのスケジュール	6
現在の設定を使用したファームウェアのアップグレード	6
工場出荷時の設定を使用したファームウェアのアップグレード	7
セーフモードを使用したファームウェアのアップグレード	8
構成設定のインポート	12
バージョン別の構成設定 インポートのサポート	13
SonicWall サポート	14
このドキュメントについて	15

ファームウェアのアップグレード

このセクションでは、新しいファームウェアを入手し、ファイアウォールのアップグレードに備えるための手順と、さまざまなアップグレード方法について説明します。

トピック:

- 最新の SonicOS ファームウェアの入手
- システム バックアップの作成 および設定のエクスポート
- 自動バックアップのスケジュール
- 現在の設定を使用したファームウェアのアップグレード
- 工場出荷時の設定を使用したファームウェアのアップグレード
- セーフモードを使用したファームウェアのアップグレード

最新の SonicOS ファームウェアの入手

ご使用の SonicWall セキュリティ装置用の新しい SonicOS ファームウェア イメージ ファイルを入手するには、以下の手順を実行します:

- ① **メモ:** 現在のところ、以下の手順では英語版のファームウェアのみを入手できます。日本語版のファームウェアは、「リソースとサポート > ダウンロード センター」より入手できます。
 1. 管理コンピュータのブラウザで、<https://www.mysonicwall.com> にアクセスして MySonicWall アカウントにログインします。
 2. MySonicWall の左ナビゲーション ペインで「製品管理 > 製品管理」に移動して、登録されている装置のリストを表示します。
 3. 製品詳細、ライセンス、ファームウェアおよびクラウド バックアップを含むウィンドウフレームを表示するために、装置のシリアル番号をクリックします。

4. 「Firmware (ファームウェア)」タブをクリックします。画面に利用可能な最新のファームウェアバージョンが表示されます。

SONICWALL TZ 570W Japan

Product Details Licenses **Firmware** Cloud Backups

▲ 更新されたリリースが利用可能です

シリアル番号	2C	ファームウェアバージョン	7.0.1-5030	リリースされた最新のファームウェア	7.0.1-5050
		種類	Maintenance Release	種類	Maintenance Release
		リリース日	Oct 18, 2021	リリース日	Feb 01, 2022

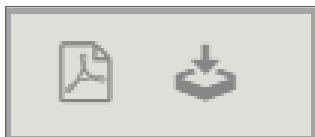
▼ Available Downloads

TZ 570W

sw_tz_570w_eng.7.0.1-5050-R2374.bin.sig	バージョン
リリース日 - Feb 01, 2022, リリース種別 - Maintenance Release, ファイルサイズ - 221.01 MB	7.0.1-5050
SNMP MIBs	バージョン
リリース日 - Jan 28, 2022, リリース種別 - Maintenance Release, ファイルサイズ - 46 KB	7.0.1-5050

すべてのファームウェアを参照

5. 利用可能なすべてのファームウェアバージョンを表示するために、「Browse All Firmware (すべてのファームウェアを表示)」ボタンをクリックします。
6. 入手するファームウェアの行の上にマウスを移動します。右側にオプションが表示されます。
7. 「ダウンロード」アイコンをクリックすると、ファームウェアがコンピュータにダウンロードされます。「PDF」アイコンをクリックすると、『リリースノート』が表示されます。



システム バックアップの作成および設定のエクスポート

アップグレードの処理を開始する前に、SonicWall 装置上でシステムバックアップを作成します。バックアップを作成すると、SonicWall セキュリティ装置は現在のシステム状態および構成設定情報の「スナップショット」を取り、そのスナップショットを新しいバックアップファイルとします。バックアップは、ローカル(装置上)またはクラウドに保存できます。バックアップが自動的に実行されるようにスケジュールすることもできます。

- SonicWall NSsp 13700 と NSa シリーズの装置では、このバックアップ機能により、装置の現在のシステム状態、ファームウェア、および構成設定のコピーが保存され、設定を以前の状態に戻す必要が生じた場合に備えて既存のすべての設定が保護されます。
- SonicWall TZ シリーズのファイアウォールでは、現在の構成設定のバックアップを作成し、現在のファームウェアバージョンまたは新しくアップロードされたファームウェアバージョンで使用することができます。現在のファームウェアイメージそのものはバックアップに含まれません。

複数のファームウェアバージョンについて、複数のローカルバックアップファイルおよび複数のクラウドバックアップを保存できます。1つのファームウェアバージョンにつき複数のバックアップが保存されている場合は、バージョンの横にある矢印をクリックすると、保存されている構成バックアップのリストが表示されます。このリストから、バックアップされた任意の構成を使用して現在または新規のファームウェアイメージを起動できます。

また、ローカル管理ステーションのファイルに、装置の構成設定をエクスポートすることもできます。このファイルを構成設定の外部バックアップとして利用し、ファームウェアを工場出荷時の設定で再起動する必要がある場合に、別の装置や同じ装置にインポートすることができます。

システムバックアップを保存し、構成設定をローカル管理ステーション上のファイルにエクスポートするには、以下の手順を実行します:

1. SonicOS 7.0 では、「デバイス」ビューで、「設定 > ファームウェアと設定」に移動します。ローカルバックアップの場合は、「ファームウェアとローカルバックアップ」をクリックします。クラウドバックアップの場合は、「クラウドバックアップ」をクリックします。
2. SonicOS 6.5 では、「管理」ビューで、「更新 | ファームウェアとバックアップ」に移動します。
3. 「バックアップの作成」をクリックし、以下のいずれかを選択します。
 - **ローカルバックアップ** - NSsp 13700 または NSa シリーズのファイアウォールでは、SonicOS により、現在のシステム状態、ファームウェア、構成情報の「スナップショット」が最新のローカルバックアップファイルとして保存されます。
TZ シリーズのファイアウォールでは、SonicOS により、すべての構成設定を含む小さなファイルが装置上に保存されます。
「ローカルバックアップ」ダイアログで、必要に応じて「ローカルバックアップを保持する」を選択し、このバックアップが将来のローカルバックアップで上書きされないようにします。必要に応じて、「コメント」フィールドにコメントを入力し、「OK」をクリックしてバックアップを続行します。
 - **クラウドバックアップ** - 「クラウドバックアップ」ダイアログが表示されます。必要に応じて「クラウドバックアップを保持する」を選択し、このバックアップが将来のクラウドバックアップで上書きされないようにします。1つのファームウェアバージョンにつき最大3つの構成バックアップファイルを保持できます。必要に応じて、「コメント」フィールドにコメントを入力し、「OK」をクリックしてバックアップを続行します。
4. 設定を管理コンピュータ上のローカルファイルにエクスポートするには、「構成のインポート/エクスポート」(SonicOS 7.0 の場合、このオプションは「ファームウェアとローカルバックアップ」画面にあります)をクリックし、「構成のエクスポート」を選択します。保存したファイルの名前が表示されるポップアップダイアログで、「エクスポート」をクリックして処理を完了します。

自動バックアップのスケジュール

構成設定の自動バックアップをスケジュールできます。ファイアウォールを最新のファームウェアにアップグレードした後にこれを行うことを推奨します。

- ① **メモ:** 構成設定ファイルのバックアップをスケジュールするには、「クラウド バックアップ」を有効にしておく必要があります。この機能は、ローカルバックアップに対してはサポートされていません。

バックアップをスケジュールするには、以下の手順を実行します:

1. 「デバイス | 設定 > ファームウェアと設定」に移動します。
2. クラウド バックアップ画面を表示するために、「クラウド バックアップ」をクリックします。
3. 「バックアップの作成」をクリックし、「バックアップのスケジュール」を選択します。
4. 「バックアップのスケジュール」ダイアログで、次のオプションを選択します。
 - 1回のみバックアップを行うには、「スケジュール種別」で「1回」を選択し、カレンダーを使用して日付と時間を設定します。
 - 繰り返しバックアップを行うには、「スケジュール種別」で「繰り返し」を選択し、曜日と時間を設定します。
 - 混在したスケジュールでバックアップを行うには、「スケジュール種別」で「混在」を選択し、曜日と時間を設定します。
5. 終了したら、「保存」を選択します。

詳細な手順については、SonicWall 技術文章ポータル (<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/technical-documentation/?language=Japanese&category=Firewalls>) で入手できる『SonicOS 7 デバイス設定』管理ガイドを参照してください。

現在の設定を使用したファームウェアのアップグレード

LAN または WAN インターフェイスが管理アクセス用に構成されている場合は、SonicWall セキュリティ装置の SonicOS イメージをリモートで更新できます。SonicWall NSsp 13700 および NSa プラットフォームでは、直接 MGMT ポートに接続し、ブラウザでその IP アドレス (既定では <http://192.168.1.254>) を開いてログインし、アップグレードを実行することもできます。MGMT ポートにアクセスするには、まずご使用のコンピュータに 192.168.1.0/24 サブネット上の IP アドレス (192.168.1.20 など) を構成します。

新しいファームウェアを SonicWall 装置にアップロードし、起動時に現在の構成設定を使用するには、以下の手順を実行します:

- △ **注意:** 別の言語のファームウェアを現在の構成で起動すると、構成設定が破損する恐れがあります。その場合は、「工場出荷時の設定を使用したファームウェアのアップグレード」を行った上で、必要な構成を行ってください。

1. MySonicWall から SonicOS ファームウェア イメージ ファイルをダウンロードして、ローカルコンピュータ上の任意の場所に保存します。
2. ブラウザで装置の IP アドレスを開き、管理者としてログインします。
3. 「デバイス」ビューの「設定 > ファームウェアと設定」ページの「ファームウェアとローカル バックアップ」画面で、「ファームウェアのアップロード」をクリックします。
4. 「現在の設定をバックアップしましたか?」ポップアップ ダイアログで、「OK」をクリックしてファームウェアのアップロードを続行します。
5. 「ファームウェアのアップロード」ダイアログで、SonicOS ファームウェア イメージ ファイルを保存した場所を参照し、ファイルを選んで「アップロード」をクリックします。ファームウェアのアップロードが完了すると、「ファームウェアとローカル バックアップ」テーブルにファームウェアが表示されます。
6. 「アップロードされたファームウェア バージョン」の行にある「起動」アイコンをクリックし、「ファームウェアを現在の構成で起動する」を選択します。
7. 「注意」ダイアログ ボックスで、「OK」をクリックします。装置が再起動し、ログイン ページが表示されます。
8. ユーザ名とパスワードを入力します。新しい SonicOS イメージのバージョン情報が「設定 > 状況」ページに表示されます。

工場出荷時の設定を使用したファームウェアのアップグレード

新しいファームウェアを SonicWall 装置にアップロードし、既定の構成を使用して起動するには、以下の手順を実行します:

1. MySonicWall から SonicOS ファームウェア イメージ ファイルをダウンロードして、ローカルコンピュータ上の任意の場所に保存します。
2. ブラウザで装置の IP アドレスを開き、管理者としてログインします。
3. 「デバイス」ビューの「設定 > ファームウェアと設定」ページで、「バックアップの作成」を使用してローカルまたはクラウド バックアップを作成します。
バックアップが完了するまで待ちます。
4. 「ファームウェアとローカル バックアップ」画面で、「ファームウェアのアップロード」をクリックします。
5. 「現在の設定をバックアップしましたか?」ポップアップ ダイアログで、「OK」をクリックしてファームウェアのアップロードを続行します。
6. 「ファームウェアのアップロード」ダイアログで、SonicOS ファームウェア イメージ ファイルを保存した場所を参照し、ファイルを選んで「アップロード」をクリックします。ファームウェアのアップロードが完了すると、「ファームウェアとローカル バックアップ」テーブルにファームウェアが表示されます。
7. 「アップロードされたファームウェア バージョン」の行にある「起動」アイコンをクリックし、「ファームウェアを工場出荷時の構成で起動する」を選択します。
8. 「注意」ダイアログ ボックスで、「OK」をクリックします。装置が再起動します。ファイアウォールに再びアクセスすると、セットアップ ウィザードの起動、または SonicOS 管理 インターフェースのログイン ページへの移動のオプション

ンが表示されます。

- ① **メモ:** X0 (LAN) インターフェースのIPアドレスは既定の 192.168.168.168 に戻ります。SonicOS にログインするには、X0 に接続し、ブラウザで <https://192.168.168.168> を開きます。SonicWall NSsp 13700 および NSa プラットフォームでは、MGMT ポートに接続し、ブラウザで <http://192.168.1.254> を開いてログインすることもできます。MGMT ポートにアクセスするには、まずご使用のコンピュータに 192.168.1.0/24 サブネット上の IP アドレス (192.168.1.20 など) を構成します。

9. 既定のユーザ名とパスワード (admin/password) を入力して SonicOS 管理インターフェースにアクセスします。

セーフモードを使用したファームウェアのアップグレード

SonicOS 管理インターフェースに接続できない場合は、セーフモードで SonicWall セキュリティ装置を再起動できます。セーフモード機能を使用すると、「デバイス | 設定 > ファームウェアと設定」ページで利用可能な機能の一部を含む簡素化された管理インターフェースを使って、不確実な構成状態からすばやく回復できます。

ブラウザでセーフモード インターフェースにアクセスする際に、装置の「Maintenance Key (メンテナンス キー)」を入力するように求められます。

- SonicOS 7.0.0 では、MySonicWall で「メンテナンス キー」を入手する必要があります。
- SonicOS 7.0.1 では、ファイアウォールが未登録の場合、「認証コード」をキーとして使用できます。「認証コード」は、装置底面のラベルまたは SonicOS ウェブ管理インターフェースにあります。装置を登録した後は、MySonicWall で入手できる「メンテナンス キー」を使用する必要があります。

セーフモード手順では、小さい穴の奥にあるリセット ボタン (セーフモード ボタン) を使用します。

- NSsp 13700 および NSa プラットフォームでは、セーフモード ボタンは装置前面の X0 ポート近くの電源ボタンの上にあります。
- TZ プラットフォームでは、ボタンは装置背面の電源接続端子の隣にあります。

装置の「メンテナンス キー」を入手するには、以下の手順に従います:

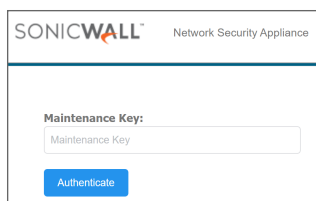
1. <https://www.mysonicwall.com> で MySonicWall アカウントにログインします。
2. 「製品管理 > 製品管理」に移動し、テーブルでご利用のファイアウォールを探します。
3. 製品詳細、ライセンス、ファームウェアおよびクラウド バックアップを含むウィンドウフレームを表示するために、装置のシリアル番号をクリックします。

4. 「製品の詳細」画面で、「Maintenance Key (メンテナンス キー)」の横にある、目の形をしたアイコンの上にマウス ポインターを置きます。マウスを動かさずにいる間、キーの値がポップアップに表示されます。このキーの値をメモしておきます。

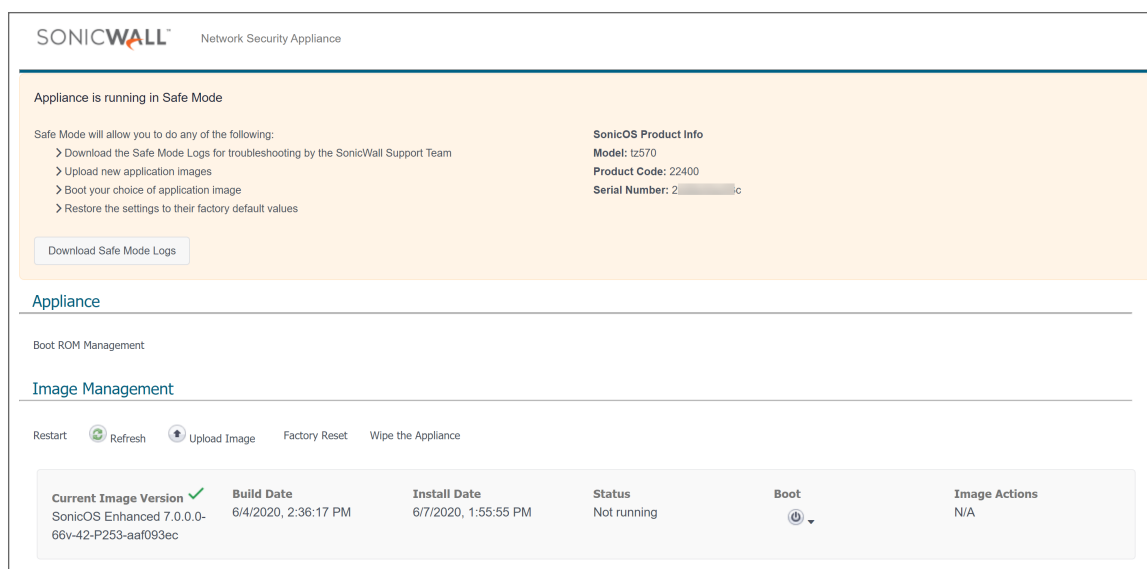
SONICWALL TZ 570W Japan 			
Product Details	Licenses	Firmware	Cloud Backups
シリアル番号	2C 	ニックネーム	SONICWALL TZ 570W Japan 
Tenant Name	SonicWALL, Inc. Products	登録日	08 Nov 2020
Managed By 	On-Box 	サポート失効期日	16 Jan 2026
製品種別	SONICWALL TZ570 WI RELESS-AC JPN	登録コード	
認証コード		ファームウェアバージョン	7.0.1-5030 
保護	 97	登録トークン  +	
メンテナンスキー			

SonicWall セキュリティ装置でセーフモードを使用してファームウェアをアップグレードするには、以下の手順を実行します:

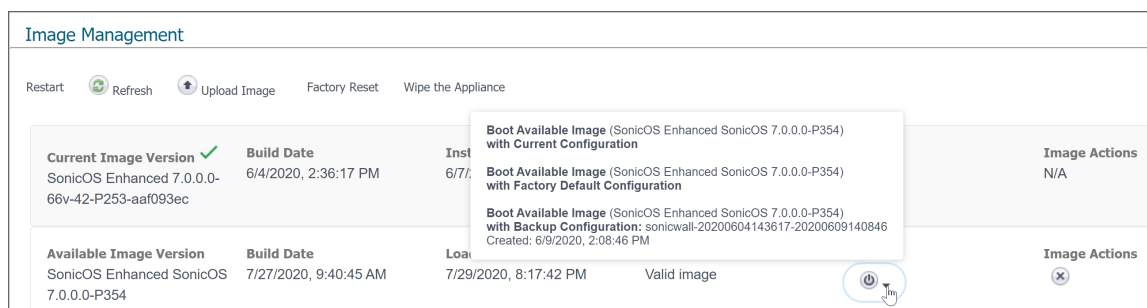
- 以下のいずれかを行って、コンピュータを装置に直接接続します。
SonicWall NSp 13700 または NSa では、コンピュータを装置の MGMT ポートに接続して、IP アドレスを 192.168.1.0/24 サブネット上のアドレス (192.168.1.20 など) に構成します。
SonicWall TZ では、コンピュータを装置の X0 ポートに接続して、IP アドレスを 192.168.168.0/24 サブネット上のアドレス (192.168.168.20 など) に構成します。
- 細くてまっすぐなもの (伸ばしたクリップや爪楊枝など) を使用して、セーフモード ボタンを押します。TZ では、セーフモード ボタンを約 60 秒間押し続けます。NSp 13700 または NSa シリーズの装置では、ボタンを押してから押し続ける必要はありません。
装置がセーフモードで再起動すると、テスト (レンチの形) LED が点滅を始めます。
- 次のいずれかの操作を行って、セーフモード管理インターフェースにアクセスします。
 - SonicWall NSp 13700 または NSa では、ブラウザで <http://192.168.1.254> を開きます。
 - SonicWall TZ では、ブラウザで <https://192.168.168.168> を開きます。
- 「Maintenance Key (メンテナンス キー)」のプロンプトの下に、MySonicWall で入手したキーを入力するか貼り付けてから「認証」をクリックします。SonicOS 7.0.1 を実行するまだ登録されていない装置の場合は、「認証コード」をキーとして使用します。



セーフモード インターフェイスが表示されます。



5. 「**Upload Image (イメージのアップロード)**」を選択して、SonicOS ファームウェア イメージ ファイルを保存した場所を参照し、ファイルを選んで「**Upload (アップロード)**」をクリックします。
6. 「**Available Image Version (利用可能なイメージのバージョン)**」の行にある「**Boot (起動)**」ボタンをクリックし、以下のいずれかを選択します。
 - **Boot Available Image with Current Configuration (利用可能なイメージを現在の構成で起動)**
現在の構成設定で装置を再起動するには、このオプションを使用します。
 - **Boot Available Image with Factory Default Configuration (利用可能なイメージを工場出荷時の構成で起動)**
工場出荷時の構成設定で装置を再起動するには、このオプションを使用します。構成設定は既定値に戻りますが、ログとローカルバックアップは所定の位置に残ります。
 - **Boot Available Image with Backup Configuration (利用可能なイメージをバックアップ構成で起動)**
保存されたバックアップ構成設定で装置を再起動するには、このオプションを使用します。どのバックアップを使用するか選択できます。



7. 確認のダイアログで「**Boot (起動)**」をクリックして次に進みます。
8. ファームウェアがインストールされ、起動するまで待ちます。

9. ファームウェアの起動に成功した後、ログイン画面が表示されない場合は、ブラウザでファームウェアのIPアドレスにアクセスします。工場出荷時の設定で起動した場合、X0 インターフェースの既定のIPアドレスは192.168.168.168となります。既定のユーザ名とパスワード (admin / password) を入力して SonicOS 管理インターフェースにアクセスします。

SonicWall NSsp 13700 または NSa では、192.168.1.254 で MGMT インターフェイスから装置を管理し続けることができます。

すべての SonicWall プラットフォームでは、X0 インターフェースまたは別の LAN インターフェース、あるいは WAN インターフェース (構成されている場合) から装置を管理できます。

10. コンピュータが物理的に接続されているインターフェースとは別のインターフェースから装置を管理するには、以下の手順を実行します
 - a. コンピュータを装置から切断します。
 - b. IPアドレスとDNSサーバアドレスを自動的に取得するようにコンピュータを再設定するか、通常時の静的な値に戻します。
 - c. コンピュータをネットワーク、または装置上の適切なインターフェースに接続します。

既定のLAN (X0) 以外のインターフェースから装置を管理しており、装置の管理に使用するコンピュータがIPアドレスとDNSサーバを自動的に取得するように設定されている場合は、SonicOSでそのインターフェースの静的または動的なDHCPリース範囲を構成する必要があります。
 - d. ブラウザで装置の適切なWANまたはLAN IPアドレスを開きます。

構成設定のインポート

装置から別の装置に構成設定をインポートすることにより、古い装置を新しいモデルに交換する際の時間を大幅に節約できます。この機能は、複数の装置で類似の構成設定を使用する場合にも役立ちます。

SonicOS 7.0 を実行する装置の構成設定をエクスポートするには、「[デバイス | 設定 > ファームウェアと設定](#)」ページに移動し、「[構成のインポート/エクスポート](#)」をクリックして「[構成のエクスポート](#)」を選択します。ポップアップ ダイアログで、「[エクスポート](#)」をクリックして処理を完了します。詳細については、「[システム バックアップの作成および設定のエクスポート](#)」を参照してください。

これにより、別の装置で「[構成のインポート/エクスポート](#)」リストから「[構成のインポート](#)」を選択して設定ファイルをインポートできるようになります。

SonicOS を第 6 世代のファイアウォール(バージョン 6.5 およびそれ以前) から第 7 世代のファイアウォール(バージョン 7.0) にアップグレードする場合は、構成ファイルを保存した上で、設定を 7.0 に「移行」するために、オンライン移行ツールを使用しなければなりません。詳細は、「[ナレッジ ベース](#)」の『[オンライン移行ツールを使用して第 7 世代の設定ファイルを作成する方法 \(英語\)](#)』を参照してください。

△ 注意: 別の言語のファームウェアでエクスポートされた構成設定をインポートすると、構成設定が破損する恐れがあります。

以降のセクションでは、SonicOS 7.0 を実行している装置への構成設定のインポートをサポートしているファームウェアバージョンおよびプラットフォームについて詳しく説明します。

- [バージョン別の構成設定インポートのサポート](#)

SonicOS 5.8、5.9、6.1、6.2、または 6.5 を実行するファイアウォールからエクスポートされた構成設定を、SonicOS 6.5 を実行するファームウェアにインポートする方法については、『[SonicOS 6.5 アップグレード ガイド](#)』を参照してください。

バージョン別の構成設定インポートのサポート

- ① **メモ:** SonicOS 6.5.1.3 は、SonicOS 7 を実行するファイアウォールへの設定インポートが一般的にサポートされている最小バージョンです。
- ① **メモ:** グローバル帯域幅管理、仮想アシスト、コンテンツフィルタ クライアント強制の既存の設定は、SonicOS 7 にインポートできません。グローバル帯域幅管理は詳細帯域幅管理で置き換えられており、その他の機能は SonicOS 7 で廃止されます。詳細帯域幅管理の構成の詳細については、ナレッジベース記事「How Can I Configure Advanced Bandwidth Management On Gen 7?(第 7 世代での詳細帯域幅管理の構成方法)」(<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/knowledge-base/how-can-i-configure-advanced-bandwidth-management-on-gen-7/200818093436630/>)を参照してください。

次の表は、装置から装置への構成設定のインポートをサポートする、SonicOS の書き出し元と取り込み先のバージョンを示しています。SonicOS 6.5 および 7.0 が対象となるバージョンです。

SonicOS 構成インポートのサポート

		取り込み先	
		6.5	7.0
書き出し元	6.5	Y	Y (6.5.1.3以降)
	7.0	N	Y

上記で“Y”の場合は、次のセクションの表にあるお持ちの製品をご覧ください。

上記で“N”の場合は、この構成のインポートはサポートされていません。

- ① **メモ:** SonicOS 6.5.1.3 より前の SonicOS 6.x バージョンから、SonicOS 7 を実行するファイアウォールへの構成設定のインポートは、次のような 2 段階の行程によってサポートされます。
 1. ファイアウォールを SonicOS 6.x から SonicOS 6.5.1.3 以上にアップグレードする。
 2. アップグレードしたファイアウォールから設定をエクスポートし、SonicOS 7 を実行するファイアウォールにそれらの設定をインポートする。

SonicWall サポート

有効なメンテナンス契約が付属する SonicWall 製品をご購入になったお客様は、テクニカルサポートを利用できます。

サポート ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート ポータルにアクセスするには、次の URL を開きます: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/support>

サポート ポータルでは、次のことができます。

- ナレッジベースの記事や技術文書を閲覧する。
- 次のサイトでコミュニティフォーラムのディスカッションに参加したり、その内容を閲覧したりする:
<https://community.sonicwall.com/technology-and-support>
- ビデオ チュートリアルを視聴する。
- <https://mysonicwall.com> にアクセスする。
- SonicWall のプロフェッショナル サービスに関して情報を得る。
- SonicWall サポート サービスおよび保証に関する情報を確認する。
- トレーニングや認定プログラムに登録する。
- テクニカルサポート やカスタマー サービスを要求する。

SonicWall サポートに連絡するには、次の URL を開きます: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/contact-support>

このドキュメントについて

① | **メモ:** メモアイコンは、補足情報があることを示しています。

① | **重要:** 重要アイコンは、補足情報があることを示しています。

① | **ヒント:** ヒントアイコンは、参考になる情報があることを示しています。

△ | **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないとハードウェアの破損やデータの消失が生じる恐れがあることを示しています。

△ | **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。

SonicOS アップグレードガイド -- NSsp, NSa、および TZ シリーズ
更新日 - 2022 年 1 月
ソフトウェアバージョン - 7
232-005456-00 Rev F

Copyright © 2022 SonicWall Inc. All rights reserved.

本文書の情報は SonicWall およびその関連会社の製品に関して提供されています。明示的または暗示的、禁反言にかかわらず、知的財産権に対するいかなるライセンスも、本文書または製品の販売に関して付与されないものとします。本製品のライセンス契約で定義される契約条件で明示的に規定される場合を除き、SONICWALL および/またはその関連会社は一切の責任を負わず、商品性、特定目的への適合性、あるいは権利を侵害しないことの暗示的な保証を含む(ただしこれに限定されない)、製品に関する明示的、暗示的、または法定的な責任を放棄します。いかなる場合においても、SONICWALL および/またはその関連会社が事前にこのような損害の可能性を認識していた場合でも、SONICWALL および/またはその関連会社は、本文書の使用または使用できないことから生じる、直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊的、または付随的な損害(利益の損失、事業の中断、または情報の損失を含むが、これに限定されない)について一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその関連会社は、本書の内容に関する正確性または完全性についていかなる表明または保証も行いません。また、事前の通知なく、いつでも仕様および製品説明を変更する権利を留保し、本書に記載されている情報を更新する義務を負わないものとします。

詳細については、次のサイトを参照してください: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal>

エンドユーザ製品契約

SonicWall エンドユーザ製品契約を参照する場合は、以下に移動してください: <https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal/end-user-product-agreements/>

オープンソースコード

SonicWall Inc. では、該当する場合は、GPL、LGPL、AGPL のような制限付きライセンスによるオープンソースコードについて、コンピュータで読み取り可能なコピーをライセンス要件に従って提供できます。コンピュータで読み取り可能なコピーを入手するには、"SonicWall Inc." を受取人とする 25.00 米ドルの支払保証小切手または郵便為替と共に、書面による要求を以下の宛先までお送りください。

General Public License Source Code Request
Attn: Jennifer Anderson
1033 McCarthy Blvd
Milpitas, CA 95035